



一般社団法人 宮城県理学療法士会 ニュース 2018 No.2 (通巻162号)

目次

巻頭言	1
第47回定時総会および協会賞受賞式開催	4
会員状況のお知らせ	6
事業局からのお知らせ	7
教育局からのお知らせ	9
学術局からのお知らせ	10
認定理学療法士についての動向	11
他府県での自然災害への対応について	11
仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練に参加しました	12
宮城県リハビリテーション専門職協会からのお知らせ	12
第9回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会 報告	13
東北理学療法学術大会へ行こう！	13
第22回宮城県理学療法学術大会について	14
地域包括ケア実践会員養成研修及び 地域包括ケア推進リーダー導入研修のお知らせ	15
仙台市介護予防月間に参加します	17
宮城県理学療法士連盟活動報告	18
パラスポ仙台における支援活動	20
スポーツ理学療法 2020年オリパラに向けて	21
スポーツ支援推進執行委員会より	22
体組成計・運動機能分析装置を貸し出します	23
決算報告書	24
広報部広報班からのお知らせ	27

巻頭言

「マネジメント能力を養う」

一般社団法人宮城県理学療法士会
会 長 渡邊 好孝

＜指定規則の改定＞

平成 32 年 4 月の入学生から改正された理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム(指定規則)が適応される予定です。改定作業は平成 11 年の改正から実に 18 年振りに着手され、各養成施設ではその準備に着手しています。

理学療法士・作業療法士学校養成施設のカリキュラム等改善検討会報告書(平成 29 年 12 月 25 日)によれば、平成 11 年度の全国での PT 学校施設数は 107 施設、定員数約 3600 人でしたが、平成 29 年度の養成施設は 256 施設で定員数は約 14200 人、定員数は 3.9 倍となっています。

これまでに将来の需給見通しに関しては理学療法白書などで報告されていますが、年間 1 万人近い理学療法士が誕生することにより供給過剰ではないかと懸念する声も囁かれています。

21 世紀の技術革新は dog year(7 年)や mouse year(18 年)のように変化していると言われています。つまり、これまでの 7 倍から 18 倍のスピードで技術革新は進んでいるということです。

私たちは意識的にまたは無意識に新しい技術を受け入れながら生活をしています。身の回りの製品(モノ)やサービス(コト)を見渡したら数年前には無かったモノ・コトの情報や現実が溢れていることに気付かされます。

同様に保健・医療・福祉・介護などの領域でも、目まぐるしく働く環境は変化しています。このような現実の中で作業や業務に対応していますと、何か大切なモノ・コトを忘れて働いていることに気付かされる今日このごろです。

私たちのこれまでの仕事は、病気や障害そして加齢に伴うリハビリテーションなどの理学療法を個人(当事者)に対して提供することが主でしたが、今からは、それ以前・その後の人々の健康を支えることも仕事になります。理学療法士としての立場と役割を理解し社会の期待に応えていかなければなりません。

宮城県理学療法士会は、私たちと出会うすべての顧客(行政・地域住民・当事者、学生など)の行動の変化を素早くインサイト(insight＝洞察、発見)し、社会との調和を取りながら、真の顧客起点で需要を創造し続け、個人と組織の繁栄のために専門職としての使命を果たす所存であります。

変化の激しい昨今、カリキュラムの改定は喫緊の課題です。そしてこのような時代だからこそ、理学療法士教育の中心骨格に、深い人間理解とそれに基づく愛のある「心のマネジメント」を教えていくことが学校養成施設の教員と臨床実習指導者の使命であると思っています。

＜仕事が奪われる要因＞

仕事が奪われる 3 つの要因は、(a)供給過剰、(b)技術革新、(c)顧客の行動の変化と言われています。

(a)供給過剰が進むほどに同業者や関連業者は互いに鎬を削ることになり、これまで同様の価値を提供しても顧客が感じる「特別な価値」(満足・悦び)は薄れてしまいます。

“いつでも・どこでも・誰にでも”手に入るモノ・コトの価値で収益を上げ続けることは至難の業です。独自能力とブランド力がなければ過当競争下では生き残れないのが顧客市場の常識です。

理学療法士の供給過剰を憂慮するより、職業倫理に基づく業務の方向転換や業務拡大のマネジメントをすることが大切です。そして、リンゲルマン現象を引き起こさず、皆で未来の需要を拵え続ける努力をすることが肝心です。

そのためにも理学療法士が増えた強みを活かし、組織力を強化して理学療法士を知悉している仲間を国や地方の政治現場に送り出し、活躍していただくことが、個人と組織の繁栄を保障することに繋がると私は確信しています。

(b)技術革新は、19世紀の蒸気機関の発明(第1次産業革命)、20世紀初頭からは電気エネルギー(第2次産業革命)、20世紀の中盤から後半はコンピューター(第3次産業革命)、21世紀になると、2015年頃から普及が始まりましたIoT(Internet of Things=モノがインターネット経由で通信する)の驚異的な発展が第4次産業革命を引き起こしていると言われています。

インテルの創業者ゴードンムーア氏によれば集積回路(ICチップ)は約18ヶ月で2倍のペースで性能が上がることを1965年に経験則から提唱(ムーアの法則)しました。ほぼその説に沿って進化しているようです。

発展を繰り返し約50年後の現在は、AI(artificial intelligence=人工知能)が様々な分野での研究に力を発揮するようになりました。

英オックスフォード大学でAIなどの研究を行うマイケル・A・オズボーン氏の2013年の論文「雇用の未来」では、2023年から2033年の10年間で約47%の人の仕事がなくなると発表しています。2015年12月の野村総合研究所とオズボーン氏の共同研究発表によると、日本の10年から20年後は49%の職業が機械やロボット化が可能になると予測され、自動化されるリスクが高い職種のランキングも「雇用の未来」とほぼ同様であると結論付けられました。

その危険性のある職業は機械化やデータ化され易い仕事を有する職種だとAIは分析しています。また、コンピューターに代替えさ

れ難く生き残ると予測される709職種中Physical Therapistsは90位と報告されています。

理学療法士の業務内容の一部はIoTとAIの進化に伴いBIT(Business Intelligence Tool=ソフトウェアなど)に代用される時代が直ぐに来ることが予測できます。これらによって作業的な肉体労働と頭脳労働は代替えられることは夢物語ではなさそうです。

それは、2015年6月の「保健医療2035」策定懇談会提言書や同年11月の「保健医療2035と医療改革の展望」報告での、『2035年日本は健康先進国へ(2035 JAPAN VISION HEALTH CARE)』という国家目標の提示や、2016年9月より開催された、安倍総理(首相官邸)の未来投資会議録に記された成長戦略に示されている事項からも理解できます。

しかし希望的観測ですが、「人の心と身体の健康を支える仕事」を機械やロボットが臨機応変に感情労働や幸せ提供業を担うことはできないでしょうし、作業・業務上で実用価値(使用価値・機能価値)を高めたとしても、仕事をする側・受ける側が、情緒価値(感情価値・気分価値・幸せ価値)を満たされ続けることはないだろうと思います。

AIはどこまで人間の感情的な部分をどのように学習するのか、SF映画で観た夢のような世界は訪れるのか、などと思いを巡らせている間にも現実には直ぐそこにありそうです。

誰もが技術革新によって便利さを得た半面、失うものの大きさに気付かされる経験をしているかと思います。

モノ・コトは技術革新の変化と共にその役割を終え、消えてしまう運命にあるのかもしれない。

しかし、人は、私を必要としてくれる人がいる限り、もしくは、私が必要とする人がいる限り自分の存在を意識することができ、それぞれの尊厳を満たす自己実現行動を起こし生き続けるのだと私は思っています。

いま一緒にいるあなたのためだけに幸せを探求し提供したい「今だけ・ここだけ・あなただけ」との思いで働くことが、一緒の時間と

空間を共に過ごす人間の仕事の極意だと思っています。

(c)顧客の行動の変化について、米国の経営学者でマーケティングの世界的第一人者であるフィリップ・コトラー氏が2014年の講演会録で述べられた講演内容を要約して紹介します。

「顧客がこれまでとまったく異なる新しい生きがいを見つけられた喜びを持つためには、今までには見えなかった顧客自身に内在する意識や欲求と新しく出会う機会を、顧客に提供できる製品やサービスが企業と顧客の間に共感を生み、製品やサービスを所有することで、顧客が“自分らしい”と言える実感が持てる。」

「まずは、顧客自身も意識していない欲求や思考のインサイトを読むことから始めること。そして、顧客が本当に必要とする製品やサービスを提供しない限り、新しい需要は生まれない。」という人間中心のマーケティング(マーケティング 4.0)の考えです。

今年から、2025年問題に向け、「地域包括ケアシステム」や「地域共生社会の実現」などが、顧客の行動の変化を起こすキーワードになると思います。

これらをフィリップ・コトラー氏の説に基づき考えると、「私たちは理学療法士の過去に執着することなく、今の顧客、これからの顧客は誰なのか、そしてなぜ今、顧客は私たちを使ってくれているのかを問うことが大切だ。そうしなければ新しい顧客の開拓や既存顧客の信用の向上を実現することは難しい。理学療法士は顧客の声を真摯に聞き、顧客が本当に必要とする、その人らしい人生を過ごすための企画を提供しない限り、理学療法士に対する新しい需要は生まれない。」と言うことではないでしょうか。

2017年「マーケティング 4.0」が出版されています。

<顧客を失う理由>

「サービスが伝説になるとき」ベッツィ・サンダース著の企業が顧客を失う理由(一部解釈を付け加えます)を紹介します。

①1%は死亡(人口減少)、②3%は転居(人口流出)、③5%は友人の影響(「あそこはやめた方がいいよ」などの噂)、④9%はライバル会社からの誘引(競合)、⑤14%は商品への不満(品質)、⑥68%は従業員の無関心な態度(気分)と記されています。

そのものの価値が100%であっても①から⑥の影響で仕事は減少し失い、特に⑥の管理が仕事を継続する上で重要成功要因となります。

つまり知識・技術以上に社会人としてのマナーが身に付いていること、顧客の気分が良くなる「心のマネジメント」を実践できることであり、そのような教育の徹底が重要であることを示唆しています。

<仕事に well-being を>

私たちは、1946年に世界保健機構(WHO)憲章の草案の中で述べられた「ウェルビーイング」(well-being=幸福)の意味を再考しなければなりません。

『2035年日本は健康先進国へ』の健康づくりのフロントランナーとして、理性に基づく説得力のある仕事と感性を喜ばず感動の仕事を開発し、人の「心のマネジメント」を学び続けましょう。

専門職の養成は、その生業の中心骨格になる土台と基礎と下地を築くものでなければ、社会に出てから真の幸福を仕事から感じることは難しいと思います。

また組織や先輩は後輩に対して専門職として、人として“出来栄え好く育て続ける習慣を忘れない”ことが大切だと思います。

理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会報告書の専門分野「理学療法管理学」の改正内容“…マネジメント能力を養うとともに、理学療法倫理、理学療法教育についての理解を深める必要があることから…”を拝見し思うところを述べさせていただきました。

第 47 回定時総会および協会賞受賞式開催

【第 47 回定時総会】

6 月 2 日から 3 日の 2 日間にかけて、ベルサール汐留（東京都）にて第 47 回定時総会が開催されました。

1 日目には、来賓として内閣官房長官 菅義偉氏、衆議院議員 塩崎恭久氏、衆議院議員 田村憲久氏、衆議院議員 田野瀬太道氏、厚生労働大臣 加藤勝信氏（代理出席：厚生労働省医務技監 鈴木康裕氏）に御列席いただき、御祝辞を頂戴しました。

宮城県理学療法士会からは、渡邊好孝代議員、黒後裕彦代議員、榊望代議員、櫻井健太郎代議員、村上賢一代議員の 5 名が出席いたしました。

審議事項等、概要については以下の通りです。

〈審議事項〉

- 第 1 号議案 名誉会員の承認を求める件
- 第 2 号議案 会員の除名の件
- 第 3 号議案 平成 29 年度決算書類の承認を求める件
- 第 4 号議案 選挙管理委員の承認を求める件
- 第 5 号議案 常勤役員要件審査委員の承認を求める件
- 第 6 号議案 議事運営委員の承認を求める件
- 第 7 号議案 理学療法士養成課程の 4 年制大学化推進の件

〈報告事項〉

- 平成 29 年度 監査報告について
- 平成 30 年度 事業計画、予算について

〈その他（意見交換）〉

各種執行状況、理学療法士養成課程の 4 年生大学化推進の件について活発な意見交換が行われました。

【協会賞受賞式】

定時総会 1 日目終了後に、協会賞受賞式および受賞者祝賀会が執り行われました。

本年度は、宮城県理学療法士会三浦幸一副会長含む 38 名に贈呈されました。



三浦幸一副会長 協会賞受賞

「日本理学療法士協会 協会賞を受賞して」

国立病院機構 仙台西多賀病院 三浦 幸一

平成30年6月2日東京都港区のベルサール汐留に於いて、渡邊県士会長並びに理事の皆さんの推薦を受け、日本理学療法士協会の協会賞を受賞致しました。日本理学療法士協会の協会賞は、会員歴 30 年以上(休会期間を除く)、かつ 55 歳以上の者で本会の活動、都道府県理学療法士会の活動において格段の功績のあった者で、長年にわたり協会並びに県士会活動に貢献した会員に送られます。全国の都道府県士会から38名の理学療法士が協会賞を授与されました。

自分が理学療法士になった20数年前は宮城県士会の人数は40名足らずで、当然のように県士会に入会し、県士会の一員となりました。色々な県士会の活動をお手伝いするうちに、運営にも関わるようになり、今では副会長を務めています。

理学療法士の地位向上や宮城県士会員のためと思い、初めのうちは本当に手弁当でしたが、それでも色々な病院の皆さんと楽しく仕事ができ、その繋がりは、今でもとても役に立っています。

子供の頃から、表彰状されることなど滅多に無く、授賞式の時は若干の緊張の中にも、年甲斐もなく嬉しさがこみ上げてきました。ここまで優しく見守ってきて下さった渡邊会長や理事の皆さん、県士会の皆さん、今まで勤務していた職場のスタッフの皆さんに感謝致します。これを機会に心新たに精進していきたいと思います。

ありがとうございました。



会員状況のお知らせ

会員状況(平成30年9月18日現在)

会員数 1661人(休会者含む)

施設所属会員 1323人

自宅会員 178人

休会者 160人

施設数 302施設

平成30年度新入会・異動状況

新入会者 104人

異動状況(平成30年4月1日から9月18日まで)

県内異動 42件

転入 36件

転出 12件

休会 14件

任意退会 4件

*重複あり

会員管理班からお願い

自宅住所の変更も含めて異動の際は申請をお願いいたします。

特に郵送物を“自宅”にされている会員の方は、引っ越し後の郵送物が届かなくなりますので早めに申請してください。

事業局からのお知らせ

理学療法の日 全国統一介護予防・健康増進キャンペーン 2018 が開催されました

平成30年7月1日(日)にアリオ仙台泉にて理学療法の日 全国統一介護予防・健康増進キャンペーン 2018 が開催されました。今年も元気モリモリ頑張っぺ体操の実践と、仙台市内で活動されております自主グループの皆様方の発表や仙台市からのご協力もあり盛況に終了することができました。当日参加して頂きました皆様方、運営に携わって頂きました先生方、ありがとうございました！！

広報部では、このキャンペーンに参加していただいたボランティアの方を対象にアンケートを実施してきました。アンケートの結果を一部抜粋してご報告いたします。

【片岡洋樹さん 仙台医健・スポーツ&こども専門学校 10年目】

Q1. 今回のボランティアを行おうと思ったきっかけを教えてください

今回参加したきっかけは、ここ数年、介護予防事業に関わることが増えており、宮城県理学療法士会が主催するイベントに興味を持ったからです。また、開催場所的にも、元気で生活をしている一般人が興味を持ち、参加しに来てくれるのかを確認してみたいという理由もありました。

Q2. 来場された一般の方々の反応はいかがでしたか

改めて自分自身の身体計測や健康についての講話に触れる良い機会であると感想を述べる人が多く存在しており、とても楽しそうに、なおかつ真剣にイベントに参加している姿が印象的でした。帰り際にも、スタッフに笑顔でお礼を述べている人もいたので、とても有意義だったと思います。

Q3. ボランティアを行ってみての感想や、今後のキャンペーンに対しての意見などをお願いします

地域に出て、生活区域で活動してみることで、現状で何が必要とされているかを知る良い機会になったと感じた。そこに、しっかり理学療法士が関わっていく意義を見いだせた良い機会であったと思います。今後も、このような介護予防キャンペーンで健康増進を唱えていくべきであり、もっと地域に出ていくことができる理学療法士を増やすべきだと思います。



以下のアンケートは内容を一部抜粋し掲載させて頂きました。

Q1. 今回のボランティアを行おうと思ったきっかけを教えてください

- ・介護予防推進リーダーになり運動の大切さを伝えたいと思ったため。
- ・自職場で介護予防教室を行っており、地域に向けた活動に取り組みたいと思ったため。
- ・介護予防に興味があり、普段働いている時はなかなか関わりのない一般の方と接してみたかったため、参加させて頂きました。

Q2. 来場された一般の方々の反応はいかがでしたか

- ・ご自分の数値を出されてびっくりしていた方が多かった。
- ・普段、筋力やバランス等を改めて評価する機会がないという方が多くいらっしゃった。
- ・検査結果のフィードバックを行うとご自身のお体のことを話して下さり反応が良かったです。
- ・自分が平均より低い方は、どういった運動をすれば良いかなど積極的に質問されていた。

Q3. ボランティアを行ってみての感想や、今後のキャンペーンに対しての意見などをお願いします

- ・その場で簡易的な評価をした結果を、分かりやすくフィードバックすることが難しいと感じた。
- ・普段関わる要支援・介護以外の方の話を聞くことができて貴重な経験になりました。運動やPTに興味を持っていただけた方が多く、これからもこうした活動を通し健康寿命を延ばすきっかけを作っていきたいと思いました。
- ・各地域で行われているサロン等での事前案内などを積極的に行うと、より参加人数も増えるのではないかと感じました。
- ・運動に興味があっても「どのように運動していいか分からない」「一人では中々やれない」という意見が多かったです。このような運動の大切さを認識出来るキャンペーンを積極的に開催していただき、介護予防に繋げていただきたいと思います。
- ・地域の方々との交流やイベントスタッフとの交流ができて良い刺激になりました。一層PTとしての活動を広げていきたいと思いました。

【アンケートにご協力いただいたボランティアの皆様】

柴谷恒多さん(国見ナースিংホーム翔裕園/1年目)、藤本麻衣さん(徳永整形外科病院/2年目)、濱屋幸佑さん(仙台西多賀病院/2年目)、白幡 光さん(気仙沼市立病院/2年目)、夏井優花さん(総合南東北病院/3年目)、中嶋 駿さん(泉整形外科病院/4年目)、菅原明廣さん(東北医科薬科大学若林病院/5年目)、斎藤栄市さん(藤野整形外科/6年目)、小室俊臣さん(介護老人保健施設しおん/10年目)、柿花隆昭さん(東北大学病院/10年目) ※経験年数順

ご協力頂きましてありがとうございました。



宮城県理学療法士会交流会開催が開催されました

平成 30 年 7 月 1 日(日)に宮城県理学療法士会交流会が開催されました。毎年定員を超過するほどたくさんの先生方に参加して頂き今年も大盛況に終了することができました。今年度は各地区での交流会開催も支援させて頂きたく思っておりますので、よりたくさんの先生方が顔の見える関係性を構築できればと思っております。



一般社団法人宮城県理学療法士会
事業局長 櫻井 健太郎

教育局からのお知らせ

教育局は生涯学習部と教育部、学術誌部にて構成されています。教育局の主な取り組みは、新人理学療法士教育の場の提供です。そのため、特に生涯学習部での「新人教育プログラム（新プロ）」の履修は大きな使命です。10 月に本年度最後の新人教育プログラムの開講を予定しておりますので、新人理学療法士のみならず、まだ履修していない方は是非とも受講してください。

また、近年当日の無断キャンセルが問題となっております。研修会によっては定員を設けているため、希望がかなわない方もいらっしゃると思います。申込には責任を持って行い、参加してください。よろしくお願い申し上げます。

生涯学習部（新人教育プログラム）

日程	テーマ名・会場
平成 30 年 10 月 28 日（日）	B-3 （統計方法論） D-2 （生涯学習と理学療法の専門領域） D-3 （理学療法の研究方法論） E-3 （国際社会と理学療法） 会場： 東北文化学園大学 1 号館

＊ 参加希望の方は、日本理学療法士協会マイページより研修会申し込み手続きを行なってください。なお、当日参加は受け付けられませんのでご注意ください。

教育部

日程	研修会名・会場
平成 30 年 12 月 22 日 (土)	テーマ1 排痰手技と吸引 (実技と講義) テーマ2 整形外科疾患における徒手テスト (仮) (実技と講義) 会場：東北文化学園大学

- * テーマ1 (排痰手技と吸引) は8月5日に開催しておりましたが、定員を設けていたため受講できない参加者が多かったことから再度同テーマの研修会を開催いたします。
- * 参加希望の方は、県士会 HP にて案内いたしますのでそれに従って申し込みを行ってください。

学術局からのお知らせ

9月以降の研修会・学術大会案内

- 1)「関節可動域練習 骨関節系疾患に対する治療手技」
日時:9月1日(土)～2日(日) 会場:仙台医健専門学校
- 2)「身体活動に伴う呼吸循環応答 ～運動負荷試験の見方が変わる～」
日時:10月13日(土) 会場:東北文化学園大学
- 3)「呼吸リハビリテーション」
日時:10月27日(土)～28日(日) 会場:東北文化学園大学
- 4)「脳卒中者の歩行トレーニングー科学的根拠に基づく視点、ボバースコンセプトの視点、急性期および回復期の臨床の視点からー」
日時:11月17日(土)～18日(日) 会場:東北文化学園大学
- 5)「観察による運動・動作分析ー身体運動学に基づいた分析法の臨床応用ー」
日時:11月23日(金)～24日(土) 会場:東北文化学園大学
- 6)「地域理学療法の展開」
日時:1月19日(土) 会場:仙台青葉学院短期大学
- 7)「第22回宮城県理学療法学会」
日時:2月3日(日) 会場:東北文化学園大学
- 8)「心理学における運動学習理論を応用した運動・動作の指導方法」
日時:2月9日(土) 会場:東北文化学園大学

詳細は、県士会ホームページ(<http://www.pt-miyagi.org/gakujutu.html>)を御参照下さい。

(学術局長:鈴木誠)

認定理学療法士についての動向

学術局長: 鈴木誠

公益社団法人日本理学療法士協会（以下、日本理学療法士協会）では、新人教育プログラム修了者を対象に、理学療法の専門性（技術・スキル）を高めていくことを目的に、認定理学療法士制度を設けております。

新人教育プログラム修了者は7つの専門分野（基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法）のいずれかひとつ以上に登録し、認定理学療法士を目指すことを推奨しています。

2017 年 12 月 15 日現在、宮城県においては延べ 59 名の士会員がこの認定理学療法士を取得し、日々高い専門性の向上に努めて頂いております。他県と比較しても決して多くない取得者数であることから、今後学術の側面から県士会員の認定理学療法士取得を促進していきたいと考えております。

今後、社会における理学療法士の期待度の高まりとともに、認定理学療法士取得も必要になってくると考えられます。また、これに関連してこれまで JPTA NEWS に掲載されてきました通り、日本理学療法士協会の「新生涯学習制度」が平成 33 年 4 月実施として計画されていました。しかし、その実施が延期されることとなり、今後の動向が注目されています。制度の移行期でもあることから、今後県士会としても会員への情報発信に努めていきたいと思っております。

他府県での自然災害への対応について

副会長 榊 望

本年 6 月に発生した大阪北部地震、西日本を中心として甚大な被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨等、日本各地で自然災害が発生しています。宮城県理学療法士会では、これら大規模災害時に於いて、会長・災害対策委員会を中心に理事間での情報共有を図り、必要に応じて適切な支援を提供できるように対策を講じています。7 月豪雨については、特に被害の大きかった愛媛・岡山・広島各県理学療法士会へ災害支援金を、理事会での審議を経てお送りしました。

私達は、先の東日本大震災の際、PT として県民の医療・福祉・健康に率先して寄与すべきを、自分たちも被災者であるが故に十分な活動ができなかった経験を有しています。施設自体が復旧した後も地域の要請等が重なり、施設本来の機能を維持するためには相当の苦労を伴う、との声も聞きました。また様々な活動に伴って、費用もかさんでくることを後に振り返って知ることが出来ました。

仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練に参加しました

今回の災害では宮城県理学療法士会としての人的支援は見送りましたが、PTとして長期間に渡り地域貢献ができない程の災害が他都道府県で発生した際には、あの頃全国各地から直接的・間接的を問わず多くの支援を賜った感謝の想いを胸に、数多くの宮城県理学療法士会会員が支援への呼びかけに挙手いただければ大変嬉しく思います。

8月31日に行われた「仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練」に、小野部純(東北文化学園大学)、今野良紀(仙台医健・スポーツ&こども専門学校)、榊望、近藤恵(以上、仙台リハビリテーション病院)、阿部功(総合南東北病院)、以上5名が参加しました。

東日本大震災直後、仙台駅周辺では交通機関の停止によって大量の帰宅困難者が発生し、その多くが指定避難所である近隣の小中学校に避難しました。地域の指定避難所は、帰宅困難者で過密状態となり、地域住民が避難できなかったり、町内会・教職員が対応に追われたりといった状況が発生しました。

この経験を踏まえて始まったこの訓練は、今回で6回目の開催です。これまでの訓練の内容から「要配慮者への支援」が課題として挙がり、今回初めて[車いす使用者／高齢者／視覚障害者／妊婦]の誘導が訓練に組み込まれました。当会では、これらの方々(特に車いす使用者)の一時滞在場所までの移動支援について指導を行いました。

訓練を通し、要配慮者間の移動速度の違いへの対応、要配慮者が一時滞在場所で安心して過ごすことができる環境の在り方、要配慮者を異なる一時滞在場所に分散させるべきなのか…など、参加したPTから様々な意見が出ました。専門職としての意見を訓練の主管に提言し、有事の際により良い対応ができるよう力添えできればと考えています。

宮城県リハビリテーション専門職協会からのお知らせ

市町村からの委託事業について

今年度も多賀城市、仙台市より地域リハビリテーション活動支援事業の依頼を受けて、4月より活動を開始しております。宮城県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協同で取り組まれている事業です。来年度も委託事業につきましては依頼が増えることが予測されますので、興味のある先生がおられましたらご連絡頂ければ幸いです。

宮城県リハビリテーション専門職協会
事務局長 櫻井 健太郎
miyagirihakyoukai * outlook.com
*を@に変換してください

第9回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会 報告

平成30年5月23日(土)東北文化学園大学にて参加数734名(出席者39名、委任状695名)で第9回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会が開催されました。

提案させて頂いた全ての議案が可決、承認されました事をご報告致します。皆様のご協力ありがとうございました。

今年度の総会では役員変更が行われ、田中監事が相談役へ、黒後理事が新たな監事へ就任されました。また、新たに鈴木理事、羽田理事も就任され、監事3名、理事12名の体制で平成31年度までの2年の任期を務めさせていただきます。

また、一部組織改正を行い、新たに事業局内に「法人事業管理部」、特別委員会に「第39回東北理学療法学会大会準備委員会」、「50周年・法人10周年記念事業準備委員会」の委員会を設けました。

東北理学療法学会へ行こう！

引き続き会員の皆様のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。

東北ブロック協議会 理事 榊 望

日本理学療法士協会東北ブロック協議会が主催する学会は、現在“宮城→秋田→岩手→青森→福島→山形”の順で開催されていて、今年は『青森』が担当です。宮城県に住んでいると一昔前迄は、青森は少し遠いイメージがありましたが、今は新幹線で新青森まで1時間40分程、速達の東京行とほぼ同じ所要時間で行けるようになっていきます。

日本理学療法士協会が主催する全国学会は領域毎の分科会での学会が主となり、東北学会のように様々な領域の講演・セミナー・発表等に同時に触れられる機会は減ってきています。臨床で単一領域しか診る機会がない方は、会員全体でみれば少数かと思いますが、何より今まで自分が触れてこなかった、でも実際見聞すると興味深いと感じる領域との出会いがあるかもしれません。知識を深める以外にも自らの興味の幅を広げ、PTとして多様性を持てるきっかけとして、学会参加は大いに役立つはずです。

東北学会は、例年主催県と隣県の参加者が多く、少し離れた県での開催には参加者が減ってしまう傾向があります。物理的な距離に加えて、これまで東北学会の開催時期が、初冬ともいえる時期であったことも背景の一つです。年によっては雪や道路凍結の影響を受けることもありましたが、参加利便性を考慮して来年以降は大幅に時期を前倒しされることが決まっています。寒の季節の美味も多い、魅力ある今年の青森での学会に是非参加してみませんか？

日 程:平成30年11月3日(土)～4日(日)

会 場:ホテル青森 (青森県青森市)

参加費:6000円 (事前登録5000円)

※事前登録は協会マイページから行います

締切:10/5(口座振替)、10/12(現金振込)、10/24(楽天カード)

大会 HP: <http://congress.pt-tohoku-block.org>

第22回宮城県理学療法学会について

会期:平成31年2月3日(日)

会場:東北文化学園大学(仙台市青葉区国見6-45-1)

テーマ:「エビデンスに基づく理学療法ー臨床での理学療法診療ガイドラインの活用ー
シリーズ第3回 脳卒中、地域理学療法・身体的虚弱(高齢者)」

大会長 :黒後 裕彦(東北文化学園大学)

準備委員長:山口 倫生(公益社団法人 地域医療振興協会 公立黒川病院)

大会事務局:〒981-3682 黒川郡大和町吉岡字西松木60番地

公益社団法人 地域医療振興協会 公立黒川病院

特別講演:

テーマ:腰部疾患におけるEBPTの実践 ～臨床でいかにエビデンスを活用するか～

講師 :石田 和宏 先生 我汝会えにわ病院

講演1:

テーマ:理学療法診療ガイドラインの見かた

講師 :鈴木 誠 先生 東北文化学園大学

講演2:

テーマ:脳卒中 理学療法診療ガイドライン

講師 :諸橋 勇 先生 公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター

講演3:

テーマ:地域理学療法・身体的虚弱(高齢者)理学療法診療ガイドライン

講師 :阿部 功 先生 社会医療法人将道会 総合南東北病院

パネルディスカッション:

「地域での活動報告」

一般演題(口述&ポスター発表)

* 演題登録が開始されております。多くの演題登録をお待ちしております。

演題登録期間:平成30年9月1日(土)午前9:00から10月31日(水)午後5:00まで

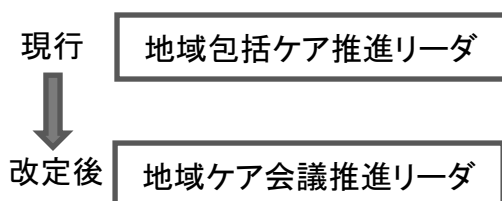
地域包括ケア実践会員養成研修及び 地域包括ケア推進リーダー導入研修のお知らせ

地域包括ケア人材育成委員会 委員長 吉田 望

公益社団法人日本理学療法士協会では、『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることでできる人材の育成を進めてまいりました。そのための制度として、【地域包括ケア推進リーダー】【介護予防推進リーダー】の2つの認証コースを平成26年より設定しております。このうち地域包括ケア推進リーダーについては“地域ケア会議”への理学療法士の参加推進を図っていくべく、名称が【地域ケア会議推進リーダー】に変更となります。

そこで今年度、宮城県理学療法士会では宮城県理学療法士連盟と共催し県内各地での研修会を予定しております。推進リーダーを目指す方のみでなく地域に興味がある方の多くのご参加をお待ちしております。

《認証システムの名称変更の理由》



“地域包括ケア”システム全体を推進する研修制度との誤解を受ける傾向がありました。これを受け“地域ケア会議”への理学療法士の参加推進を図っていくべく名称を変更いたしました。

※今回地域包括ケア推進リーダーの名称が変更となりますが現在まで取得された方は再取得の必要はありません。協会HPで反映されるのは11月以降の予定です。

《取るメリットは？》

地域包括ケアについて一定の知識や技術をもった理学療法士であることの証明になります。この認証コースを修了した会員には、「生涯学習機構の定める資格」として、40pが付与されます

《推進リーダー取得までの流れ》

取得条件 ⇒以下の3つを終了する必要があります

前提条件:新人教育プログラムが終了していること

→協会マイページ内でリーダー取得のエントリーを済ます

- ①e-ラーニングの受講(導入研修の受講前に終了していること)
- ②導入研修の受講
- ③士会指定事業の参加

仙台市介護予防月間の各種事業

- ①11月6日 ご近所応援団～地域ボランティア養成講座～(福沢市民センター)
- ②11月8日 さわやか大学～転倒予防～(根白石市民センター)
- ③11月11日 伊達な元気力アップフェスティバル(仙台市シルバーセンター)
- ④11月21日 南小泉老壮大学健康コース(若林区中央市民センター)

※取得の詳細については日本理学療法士協会ホームページ内をご覧ください。

《今年度の研修会予定》

研修会名：平成30年度地域包括ケア実践会員養成研修及び導入研修

内容：①地域ケア会議の実状について

②地域ケア会議への参加姿勢等について

③実際の地域ケア会議の様子やポイント等について

対象：一般社団法人宮城県理学療法士会員（会員外の方はご相談下さい）

・地域包括ケアや地域ケア会議についての制度などを知りたい方

・リーダー取得後、地域の実情を踏まえた実践能力を身につけたい方

・地域包括ケア（新：地域ケア会議）推進リーダー取得を目指す方

講師：地域包括ケア人材育成委員

参加費：無料

会場・日時：下記を参照頂き該当地区でお申込み下さい。

第1回：名取地区開催 日時：平成30年9月8日（土） 14:00-17:00 会場：介護老人保健施設なとり	第2回：塩竈市、多賀城市地区開催 日時：平成30年9月29日（土） 14:00-17:00 会場：塩竈市立病院
第3回：石巻地区開催 日時：平成30年10月20日（土） 14:00-17:00 会場：石巻ロイヤル病院	第4回：黒川郡、富谷市周辺 日時：平成30年11月17日（土） 14:00～17:00 会場：仙台リハビリテーション病院
第5回：仙南地区 日時：平成30年12月1日（土） 14:00～17:00 会場：未定	

研修名：第1回地域ケア会議推進リーダーならびに介護予防推進リーダー導入研修

対象：一般社団法人宮城県理学療法士会員

・地域ケア会議推進リーダー、もしくは介護予防推進リーダーの取得を目指す方

日時：平成31年2月23・24日（土・日）9:00～16:00

※23日⇒介護予防推進リーダー導入研修

※24日⇒地域ケア会議推進リーダー導入研修

どちらか一方もしくは両日でのお申込みになります。

内容：

介護予防 推進リーダー （2月23日）	①介護予防・日常生活支援総合事業とリハ専門職の取り組みを知る ②介護予防事業の展開方法 ③介護予防の実践 ④介護予防事業の企画立案
------------------------------------	--

地域ケア会議 推進リーダー (2月24日)	①地域包括ケアシステムについて ②地域ケア会議とは(必要とされる背景と位置づけ) ③地域ケア会議に求められる理学療法士の役割 ④模擬会議の実際と心構え
-----------------------------	--

講師 : 地域包括ケア人材育成委員

参加費: 無料

会 場: 医療法人松田会 松田病院 (仙台市泉区実沢字立田屋敷 17-1)

《申し込み方法》

以下のアドレスに、件名を「地域包括ケア実践会員研修」とし、①参加される予定の研修日時
②氏名、③フリガナ、④協会会員番号(8桁)、⑤生年月日 ⑥メールアドレスを記載しお申込み下さい。

なお地域包括ケア(新:地域ケア会議)推進リーダー取得を目指す方は上記の取得までの流れをご参照頂き(公社)日本理学療法士協会ホームページより申請を済ませておいてください。

【本研修や推進リーダーに関するお問い合わせ先】
一般社団法人宮城県理学療法士会 地域包括ケア人材育成委員会 阿部 旭 宛
E-mail : chiiki.hokatsu@gmail.com

仙台市介護予防月間に参加します

社会局 阿部 功

仙台市は11月を介護予防月間と定め、介護予防に関する様々なイベントを開催しています。宮城県理学療法士会では例年この事業に協力・後援しており、今年も以下の催事にて介護予防推進部を中心に活動を予定しています。

- ①11月11日 伊達な元気力アップフェスティバル(仙台市シルバーセンター)
- ②11月6日 ご近所応援団～地域ボランティア養成講座～(福沢市民センター)
- ③11月8日 さわやか大学～転倒予防～(根白石市民センター)
- ④11月21日 南小泉老壮大学健康コース(若林区中央市民センター)

①は介護予防月間のオープニングイベントとして、一般市民の方の運動機能チェックやミニ介護予防教室を行います。②～④は各市民センターとの共催事業です。市民センターで行われている市民講座の一部として、介護予防に関する講話、運動機能チェック、体操指導を行う予定です。これらの催事における活動を、日本理学療法士協会の「地域ケア会議(旧・地域包括ケア)推進リーダー」、「介護予防推進リーダー」資格取得に必要な士会指定事業とします。

各催事にてボランティアを若干名募集する予定です。詳細につきましてはGIMPニュース(Faxニュース)、県士会ホームページにてお知らせいたします。そちらをご確認の上、是非ご参加ください。



伊達元気力アップフェスティバルでの活動の様子

宮城県理学療法士連盟活動報告

宮城県理学療法士連盟会長
宮城県理学療法士会地区担当局理事
羽田智大

5月より宮城県理学療法士連盟の会長を務めさせて頂いております羽田です。宮城県理学療法士会では地区担当局と政策検討委員会を担当しております。連盟の大きな目的は、理学療法士がその唯一無二の専門性を遺憾なく発揮できる法(しくみ)を整備することによって士会の政策提言を実現し、国民の健康と生活を豊かにすることです。

そのために、士会と連盟を有機的に結び付け、会員のネットワークに体温を感じる血液を流すこと、そして理学療法士が活躍する未来に向けて共に進んでいくよう組織のエンゲージメントを高

めることが私の役割になります。それらをベースにした連盟活動の重点項目(2018年度)は以下の3つです。

1. 理学療法士の声を国政や県政に届ける活動
2. 士会との連携を強化した組織づくり
3. 組織拡大のための広報および研修会等の活動

まず、1の「理学療法士の声を届ける活動」は、組織代表の政策を応援する活動を含みます。組織代表とは、組織の課題を誰よりも熟知し会員の声を集約することができる人です。連盟では10月から始まる田中まさし後援会名簿の名簿集めの準備を進めているところです。

次に、2の「組織づくり」です。去る5月15日、連盟の新役員が決定いたしました。士連連携(士会と連盟の連携)を進めるため、そのほとんどが士会役員の皆様方です。さらに士会のブロック長を中心に、区長、班長、施設長といった新たなネットワークを構築し、士会と連盟の情報が隈なく行き渡る体制を10月中に整え、運用していく予定です。

最後の3「広報・研修会活動」に関しましては、多くの企画を立案いたしました。例えば、連盟のホームページやフェイスブックの開設(下のQRコードからアクセスください)。さらには連盟活動の認知を広げるために、5月13日に開催された新入オリエンテーション・第一回生涯学習部研修会や7月20日に実施された協会指定管理者研修会において、連盟よりご挨拶させて頂くとともに、会場内に連盟ブースを設置いたしました。

加えて、6月15日には指定規則改正研修会を士連共催で行いました。組織代表になったばかりの田中まさし先生にご来仙頂き、市内の5施設様のラウンドを実施、研修会終了後には意見交換会も開催いたしました。このような活動を通して、今まで顕在化していなかった県内の理学療法士の新たな輪が広がっていくのを感じております。そこで、今後も医政に関心を持って頂けるよう一丸となってこの輪を広げる所存です。なぜなら、医療政策は財政主導になりがちで、(声なき)民意のない施策が実現することは極めて稀だからです。



パラスポ仙台における支援活動

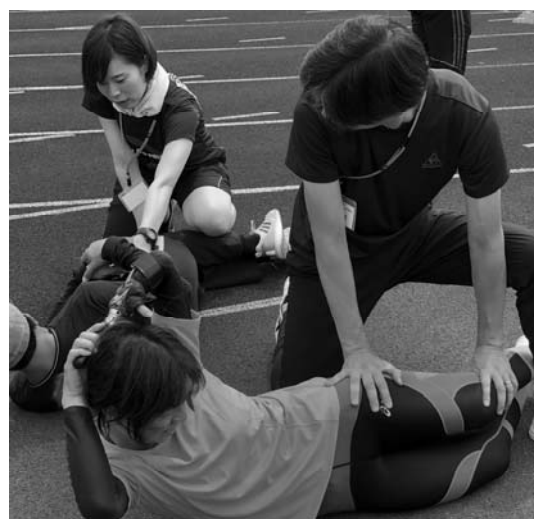
オリパラ推進委員
千葉 渉

『パラスポ仙台』とは、仙台市障害者スポーツ協会が主催し、障がい者(身体、知的)に対し、パラリンピックの競技を体験していただき、スポーツを通じて健康増進を促すことと、パラスポーツ競技に繋げることを目的としています。(詳細は仙台市障害者スポーツ協会ホームページ <http://www1.odn.ne.jp/sdsa/> をご覧ください。)

先日、仙台市障害者スポーツ協会から、宮城県リハビリテーション専門職協会へ支援要請をいただき、宮城県理学療法士会は、パラスポ仙台において、参加される障がい者の体力測定、運動相談で支援を行うこととなり、弘進ゴムアスリートパークで8月5日(日)に第1回、8月25日(土)に第2回が行われました。宮城県理学療法士会からは、佐藤友梨花先生、黒木薫先生、私の3名が参加させていただきました。

日本理学療法士協会でも、障がい者スポーツにおける理学療法士の役割は重要と考えており、地域での障がい者スポーツイベントなどへの積極的な協力・支援を推奨しています。

私自身、これまで車いすテニスや聾啞者のスポーツ大会でのサポート支援活動経験はございましたが、今回のような知的障害者へのサポート支援は初めてでした。特に、知的障害者に対する体力測定では、測定に関する説明や指示で、正確に実施していただくことの難しさを実感しました。また、片麻痺を有する参加者が、50m 走や跳躍を行う姿は、普段医療機関で勤務する我々にとって衝撃的でした。これまで、障がい者の運動能力を勝手に決めつけていたことに気づかされました。今回は、事業の把握と、仙台市スポーツ協会とどのように連携を図る事ができるかを主としていたため、会員皆様に広報いたしませんでしたが、今後は、会員の皆様にも是非ご参加いただきたいと思います。もし、一緒に参加し活動していただける方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。



スポーツ理学療法 2020年オリパラに向けて

オリパラ推進委員会
千葉 渉

平成30年6月17日東京にて、スポーツ理学療法運営担当者会議が開催され、日本理学療法士協会からは、ホストタウンとして支援する競技に合わせた研修会を、各都道府県士会で実施して欲しいとのことでした。また、来る国際競技大会等の開催に、必要な人材をレベル・人数ともに要望に応じて供給できるようにするために、日本理学療法士協会では、スポーツ理学療法の総論、基礎、応用研修会を開催していきます。開催日と開催地など、詳細については、下記の日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。また、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関与する情報や、2021 年以降も全国レベルのスポーツ現場で活躍する、理学療法士人材の育成に関することも、こちらでご案内していく予定です。

【日本理学療法士協会ホームページ】

<http://www.japanpt.or.jp/members/seminer/browse/>

【宮城県で開催されるスポーツ理学療法研修会日程】

- ・基礎研修会：平成31年1月12日、13日（会場：東北文化学園大学）
- ・応用研修会：平成31年1月26日、27日（会場：未定）

ホストタウン	相手国	事前キャンプ競技
仙台市	イタリア	サッカー、バレーボール
白石市、柴田町	ベラルーシ	新体操
蔵王町	パラオ	
石巻市	チュニジア	
東松島市	デンマーク	
亘理町	イスラエル	
名取市	カナダ	
気仙沼市	インドネシア	

【宮城県ホストタウンと事前キャンプ】

【問い合わせ先】

千葉 渉 leaf1000w★gmail.com（★を@に変えて送信してください）

スポーツ支援推進執行委員会より

平成 30 年 8 月吉日

会員各位

(公社) 日本理学療法士協会
スポーツ支援推進執行委員会
委員長 梶村政司

スポーツ理学療法研修会のご案内

これから数年間、我が国では多くの国際競技大会やスポーツ関連事業が開催され、また国内大会の開催も増加する傾向にあります。このような機会に、理学療法士が対象者に有益な活動を行っていくためには、スポーツ現場で必要となる知識・技能を習得しておく必要があります。スポーツ現場における活動にあたっての、基本的な考え方と内容の概要について解説して頂く研修会を開催します。なお、本スポーツ理学療法研修会については総論、基礎、応用と段階的な受講により理解が深まる構成にしております。総論研修会受講者の方は基礎、応用もあわせて受講することを勧めます。

<基礎研修会／2日間>

- ・平成 30 年 08 月 18 日・19 日／東京都（首都大学東京荒川キャンパス）
- ・平成 30 年 09 月 22 日・23 日／埼玉県（埼玉県建産連研修センター）
- ・平成 30 年 11 月 10 日・11 日／広島県（広島国際会議場）
- ・平成 31 年 01 月 12 日・13 日／宮城県（東北文化学園大学）

<応用研修会／2日間> ※会場は決まり次第、掲載します。

- ・平成 30 年 10 月 27 日・28 日／東京都
- ・平成 30 年 11 月 17 日・18 日／神奈川県
- ・平成 30 年 12 月 01 日・02 日／兵庫県
- ・平成 31 年 01 月 26 日・27 日／宮城県
- ・平成 31 年 02 月 02 日・03 日／東京都

【お問合せ先】

スポーツ支援推進執行委員会 スポーツ理学療法総務小委員会

板倉尚子・野々山真樹 sp-soumu★japan-pt.org （★を@に変えて送信して下さい）

体組成計・運動機能分析装置を貸し出します

県士会では今年度より、会員の技術向上、宮城県民の介護予防・健康増進等を支援すべく、各種機器を貸し出しております。県士会員であれば、利用は無料です。現在貸出可能な機器は以下の通りです。

1. マルチ周波数体組成計 MC-780A ポールタイプ(株式会社タニタ製)
2. 運動機能分析装置 ザリッツ BM-220(株式会社タニタ製)

※2の「ザリッツ」の使用には、別途パソコン等の使用と、専用のソフトウェアのインストールが必要となります。

運動機能分析装置は、椅子座位で足元に置いて使うもので、起立動作の荷重・速度・動揺などを測定します。体組成計と組み合わせて使うことで、測定結果をグラフ化し一般の方に分かりやすい資料として配布することができます。

県士会ホームページのトップページ「各種機器貸し出し」のバナーをクリックしますと、利用規約等をご確認いただけます。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

宮城県理学療法士会 社会局

阿部 功

総合南東北病院リハビリテーション科

E-mail : mpta.rental@gmail.com



仙台市薬剤師会健康フェアでの活用の様子

 ※
 ※
 ※
 決 算 報 告 書
 ※
 ※
 ※

第9期

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般社団法人 宮城県理学療法士会
 仙台市泉区泉中央一丁目9番4号 レジューエル泉302

貸借対照表総括表

平成30年3月31日現在

一般社団法人 宮城県理学療法士会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	377,511	
普通預金 七十七銀行5298946	1,829,994	
普通預金 七十七銀行9058311	20,251,990	
普通預金 七十七銀行9058885	7,003,622	
普通預金 七十七銀行9059857	484,081	
普通預金 七十七銀行9060502	4,618,020	
普通預金 七十七銀行9063773	1,670,702	
普通預金 七十七銀行9063781	85,630	
普通預金 七十七銀行9063790	6	
普通預金 七十七銀行9063820	140,006	
普通預金 七十七銀行9063838	563,364	
普通預金 七十七銀行9063846	1,009,992	
普通預金 七十七銀行9063854	39,107	
前払費用	73,000	
流動資産合計		38,147,025
2 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	1,258,559	
固定資産合計		1,258,559
資 産 合 計		39,405,584
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	8,766,000	
預り金	82,930	
流動負債合計		8,848,930
負 債 合 計		8,848,930
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
寄付金	0	
(うち基本財産への充当額)	0	
(うち特定資産への充当額)	0	
指定正味財産合計		0
2 一般正味財産		
一般正味財産	30,556,654	
(うち基本財産への充当額)	0	
(うち特定資産への充当額)	0	
一般正味財産合計		30,556,654
正味財産合計		30,556,654
(当期正味財産増加額)		39,788
負債及び正味財産合計		39,405,584

正味財産増減計算書総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般社団法人 宮城県理学療法士会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	13,293,000	
事業収益		
学術局主催研修会事業収益	1,458,000	
専門領域研究部研修会事業収益	20,000	
気仙沼地区研修会事業収益	49,500	
太白名取地区研修会事業収益	44,500	
ハンドリング技術研修会事業収益	185,000	
理学療法講習会事業収益	1,688,055	
教育部研修会事業収益	48,000	
名取市研修会事業収益	840,000	
大崎市研修会事業収益	26,000	
大衡村研修会事業収益	988,600	
石巻市研修会事業収益	16,000	
事業管理部交流会事業収益	69,000	
その他研修会事業収益	27,000	
雑収益		
メディカルオンライン著作権	10,695	
サンメディア文献	486	
日本理学療法士協会援助金	1,636,400	
その他	6,740	
受取利息	276	
経常収益合計		20,407,252
(2) 経常費用		
事業費		
福利厚生費	13,000	
旅費交通費	1,229,160	
通信運搬費	902,321	
減価償却費	414,933	
消耗品費	190,450	
印刷製本費	3,297,889	
賃借料	830,852	
講師手当	4,880,150	
講師旅費交通費	509,506	
会議費	1,285,418	
渉外費	474,835	
事務用品費	184,067	
支払保険料	1,309,289	
広告宣伝費	72,800	
支払手数料	60,718	
委託費	350,000	
ボランティア協力費	869,420	
租税公課	100,450	
支払報酬料	665,548	
支払寄付金	1,350,300	
雑費	17,280	
雑損失	96,460	
管理費		
通信運搬費	330,726	
水熱水料費	55,892	
地代家賃	876,000	
経常費用合計		20,367,464
当期経常増減額		39,788
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益合計		0
(2) 経常外費用		
経常外費用合計		0
当期経常外増減額		0
他会計振替額		0
当期一般正味財産増減額		39,788

広報部広報班からのお知らせ

広報班では研修会などのご案内を GIMP ニュースとして会員各施設に FAX で配信しております。
現在 FAX が届いていない施設や登録番号が変更された施設の代表者の方はお手数ですが、下記までご連絡頂きますようご案内申し上げます。

また代表者(宛名)が変わられた施設もご連絡頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

宮城県理学療法士会 広報部広報班

宛 先: 〒981-3341 富谷市成田1丁目3-1

仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 佐々木友也 高橋 歩

TEL : 022-351-8118 FAX : 022-351-8126

E-mail: news.edit@pt-miyagi.org

平成30年度 宮城県理学療法士会 役員名簿

部局		氏名	勤務先
理事	会長	渡邊 好孝	医療法人松田会
			医療法人光友会アルパイン川崎
	副会長 (社会・地区担当局担当)	三浦 幸一	国立病院機構 仙台西多賀病院
	副会長 (事務・財務・事業局担当)	藤野 隆喜	東北労災病院
	副会長 (学術・教育局担当)	村上 賢一	東北文化学園大学
	副会長 (委員会担当)	榊 望	仙台リハビリテーション病院
	理事 事務局担当	高橋 利幸	エバーグリーン・ツルガヤ
	理事 事業局長	櫻井健太郎	仙台東脳神経外科病院
	理事 財務局長	新山 正都	大和町たかはし整形外科クリニック
	理事 学術局長	鈴木 誠	東北文化学園大学
	理事 教育局長	高橋 一揮	東北文化学園大学
	理事 社会局長	阿部 功	総合南東北病院
	理事 地区担当局長	羽田 智大	仙台医健・スポーツ&こども専門学校
	理事 社会局担当	坪田 朋子	自宅
監事	監事	永井 淳一	自宅
	監事	遠藤 伸也	齋藤病院
	監事	黒後 裕彦	東北文化学園大学
相談役	相談役	田中 文男	自宅
事務局	総務部	総務班 (部長)	高橋 利幸
		会員管理班	加藤 佐市
	広報部	渉外班 (部長)	渡邊 広枝
		広報班	佐々木友也
事業局	公益事業管理部 (部長)	片山 望	国立病院機構 仙台西多賀病院
	土会事業管理部 (部長)	石田美樹子	仙台エコー医療療育センター
	法人事業管理部 (部長)	櫻井健太郎	
財務局	会計部 (部長)	古山 智子	自宅
学術局	学術大会部 (部長)	鈴木 誠	東北文化学園大学
	専門領域研究部	神経理学療法研究班	村上 賢一
		運動器理学療法研究班 (部長)	坂上 尚穂
		内部障害理学療法研究班	藤村 伸
		物理療法研究班	村上 賢一
		地域理学療法研究班	桂 理江子
		教育理学療法研究班	鈴木 誠
教育局	学術誌部 (部長)	高橋 一揮	
	教育部 (部長)	阿部 玄治	東北文化学園大学
	生涯学習部 (部長)	釧明佳代子	東北文化学園大学
社会局	健康増進支援部 (部長)	千葉 渉	松田病院
	介護予防推進部 (部長)	菅野 良	塩釜市立病院
	医療保険部 (部長)	金子亮太郎	松田病院
	介護保険部 (部長)	阿部 功	
地区担当局	県南地区	安孫子 洋	総合南東北病院
	太白名取地区	関 崇志	広南病院
	青葉泉地区	石島 孝樹	イムス明理会仙台総合病院
	宮城野若林地区	片岡 洋樹	仙台医健・スポーツ&こども専門学校
	大崎栗原地区	門脇 敬	大崎市民病院鳴子温泉分院
	石巻登米地区	伊東 貴広	石巻健育会病院
	気仙沼地区	小野寺裕志	気仙沼訪問リハビリステーション
常設委員会	災害支援対策委員会	坪田 朋子 (委員長)	
	組織検討委員会	榊 望 (委員長)	
	スポーツ医科学推進委員会	小野寺真哉 (委員長)	仙台北部整形外科
	3職種リハ振興委員会	阿部 功 (委員長)	

	地域包括ケア人材育成委員会		吉田 望（委員長）	仙台リハビリテーション 専門学校
	政策検討委員会		羽田 智大（委員長）	
特別委員会	選挙管理委員会		舟山 伸利	仙台赤十字病院
			小石川紀男	杜都中央病院
	東京オリパラ推進支援委員会		千葉 渉	
	第39回東北理学療法学会大会準備委員会		村上 賢一	
	50周年・法人10周年記念事業準備委員会		櫻井健太郎	
選出委員	日本理学療法士協会代議員		渡邊 好孝	
			黒後 裕彦	
			榊 望	
			村上 賢一	
			櫻井健太郎	
	東北ブロック 協議会	理事	渡邊 好孝	
			榊 望	
		学術局学会部	小林 武	東北文化学園大学
		学術局機関紙編集部	芝崎 淳	総合南東北病院
		学術局教育研修部	川上 真吾	仙台リハビリテーション病院

県士会ニュースおよびホームページへの掲載依頼について

県士会ニュースと県士会ホームページへ掲載を依頼される場合は、広報部広報班までご連絡ください。原稿は、WORDまたはテキスト形式を基本とします。PDFファイルへも対応は可能ですが、適切に印刷（掲示）されない場合があります。また掲載が適切ではないと判断された場合には、ご意向に添いかねることもありますのでご了承ください。

またご不明な点やご希望等ございましたら、下記までご連絡ください。

宮城県理学療法士会 広報部広報班

宛 先：〒981-3341 富谷市成田1丁目3-1

仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 佐々木友也 高橋 歩

TEL：022-351-8118 FAX：022-351-8126

E-mail: news.edit@pt-miyagi.org

次号県士会ニュース締切：平成31年2月28日まで

発行日：平成30年10月15日

発行：一般社団法人宮城県理学療法士会

代表者：渡邊 好孝

編集：佐々木友也 高橋 歩

印刷：合同会社P・プロGRESS

〒983-0021 仙台市宮城野区田子2-33-17

